



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年 10月 18日

2017~18年度 テーマ

継続は力なり！
プロバスクラブの道に終わりなし
生涯現役でクラブライフを楽しもう

編集・発行：情報委員会

第 270 回例会

日 時：平成 30 年 4 月 12 日(木) 11:30~13:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：57 名 出席率 91.9%

(会員総数 68 名 休会 6 名 欠席 5 名)

会食とハッピーコイン披露

山口例会委員長の進行で会食に入り、馬場副会長からハッピーコイン 13 件の披露があった。

(3~4 ページに掲載)

1. 開 会 山口例会委員長

第 270 回例会を開催します。(資料確認)

2. 会 長 挨拶 武田会長

皆様、こんにちは。4 月になりました。世間では、新年度となっており気分も新たに活動開始です。早いもので、この年度もあと 2 ヶ月半で期限を迎えます。もう一踏ん張り、頑張ります。

さて、今日は皆様からいただいたアンケートを参考にし、理事会で鋭意検討致しました「財政上の問題の対策結果」を発表致します。詳細はお手元の資料を基に内山幹事から説明いただきます。

今日の卓話、話の内容もさることながら寺田風しやれ言葉、何本出るかが楽しみです。

この例会のあとは、第 22 回生涯学習サロン第 3 週になりました。お客様を暖かくお迎え下さい。講師の皆様、元気によろしく願いいたします。

また 26 日には野外サロンと忙しい月です。体調を整えておいて下さい。

話題を取り上げてみました。A I (人工知能) です。

私も知的財産・著作権との関連で、数年前から NPO 法人の仲間と A I に関する勉強しております。ちな

みに、現行法上では A I 著作物は保護されません。

先日、“囲碁 A I (ZEN) が趙名誉名人を破る。2 勝 1 敗。2 年前は 1 勝 2 敗で逆転” の新聞記事がありましたね。(注：ZEN は「DeepZenGo」の略称) ベストセラーの『A I vs. 教科書が読めない子どもたち』新井紀子著を手にししました。本著は「A I は意味を理解しないので、意味を理解できる人材を育成する、すなわち基礎読解力の涵養を」と述べています。

「2045 年問題」というワードをお聴きになったことがあると思います。2010 年レイ・カーツワイル氏が予言した、技術的特異点 (シンギュラリティ) で A I が世界を一転するというものです。これは 18 世紀半ば産業革命に匹敵する出来事と言われました。

ところが今や、技術の発展が予想をはるかに超え、2030 年には到達するのではと言われています。今から 10 年後はどんな世界になるか予想が付きません。

オックスフォード大学の研究チームが 2013 年、米国の 702 種に分類した職業の約半数が消滅、全雇用者の 47% が失職と発表。A I には出来ない仕事をこなす人材が不足すると。また子育てなど A I にできない女性の時代になるのではと。

それでは今日も、交流を深め有意義な時間をお過ごし下さい。



3. パースデーカード贈呈



武田会長より池田会員手作りのパースデーカードが4月生まれの会員に贈られました。

左から内山、池田、佐々木研吾、塩澤の各会員（武田会長）（敬称略）

4. 卓話

「消化器後編(膵臓、胆嚢、胆道、小腸、大腸)の働きと病気の治療法」

寺田 昌章

2月に引き続き、寺田会員から「消化器の働きと病気の治療法」の続編を、ユーモアを交えてやさしく解説いただいた。



小腸は十二指腸、空腸回腸からなる全長 3m で人間の臓器で最長である。

十二指腸は人の指 12 本分の長さから名付けられており、十二指腸腺からアルカリ性の粘液が分泌されて胃酸を中和している。

又その少し下側に十二指腸乳頭が有り、胆汁と膵液が分泌される。小腸は消化吸收の 90% を担うため、粘膜面は絨毛に覆われており、粘膜面の表面積が広がる事により栄養分の吸収効率を上げている。

小腸はお腹の中でぶらぶらしているので、通常の内視鏡での挿入は難しく色々な工夫がされている。カプセル内視鏡はその 1 例で、水と共に飲み込み、画像が伝送され、体外受信装置に記録された画像を後で診断する。

胆汁は肝臓で 1 日に 600cc 作られ胆嚢で濃縮され、食事の刺激で胆嚢が収縮して胆汁が十二指腸に分泌される。胆汁に含まれる黄色い色のビリルビンは赤血球の死骸が肝臓で代謝解毒された物で尿の黄色、便の茶色の元になる。

膵液は消化酵素の分泌とホルモンの分泌を行う。ホルモンのインシュリンは血液中の糖をエネルギーに換え、糖が不足するとホルモンのグルカゴンが肝臓に蓄えられている糖を放出させ、血液中の糖を一定の幅に抑えて、体の活動を支えている。インシュリンが不足すると、血糖値が高くなる。ここでクイズ。血糖値が高くなってきたのでどこの病院に行けばよいのでしょうか。それは、高田馬場の病院に行けばよいそうです。高田馬場の決闘と言われています。

十二指腸、胆、膵の病気として十二指腸潰瘍、胆石症、胆道・胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、胆嚢炎、膵炎、膵臓癌の話があった。この中で急性膵炎は膵臓を自己消化するので、直ぐに対応しないと、肝不全に陥り死亡する確率が 10% あるので要注意。

また膵臓癌の早期発見が難しい理由の説明があり、血液検査で色々な種類の癌が見つかる診断法が治験中で、製品化すれば大変な朗報。

十二指腸乳頭に分泌される胆汁と膵液

胆汁

胆汁酸

胆汁色素

膵液

外分泌機能は消化酵素
(アミラーゼ、トリプシン、リパーゼ)

内分泌機能はホルモン
(インシュリン、グルカゴン)



肝臓には代謝機能（血液中の栄養素を体が使いやすいエネルギーに作り替え、体の必要に応じて血液中に放出し、余分な栄養は肝臓に蓄える）、解毒機能、胆汁分泌機能の 3 つの重要機能がある。

主な病気に脂肪肝、肝炎、ウイルス性肝炎（特に C 型肝炎に有効な内服薬がある）、肝硬変、肝臓癌の説明があった。肝臓は沈黙の臓器と言われるように肝臓の 70% 以上が破壊されないと症状が出ないので、治療が難しくなる。

大腸は全長 1.5m で、水分の吸収と糞便を滑らかにする粘液の分泌と、繊維成分を分解してミネラルを吸収する機能がある。

横行結腸と S 字状結腸はぶらぶらしているので、大腸内視鏡の挿入は技術が必要で、上手な医師がいる病院を探してゆくと良い。

空腸・回腸大腸、肛門の病気と症状、治療法の説明があった。クローン病と潰瘍性大腸炎は原因不明

で難病指定されている難治性の慢性炎症疾患である。

最後に腹腔鏡下外科手術の説明があった。医療費が大幅低減、社会復帰が早く傷跡が残らない等の利点があり、今後腹部外科手術の90%がこの手技に置き換わると予想される。

5. 幹事報告

内山幹事

アンケート結果を基にお手元の資料にあります財政再建案を作成しました。

現行会費で事業活動を実施していくためには、全ての支出を見直し、会費収入で賄える本来の姿に戻す必要があります。例会費用を初め各支出項目毎に削減案を設定しました。各支出項目の付帯条件が実施できた場合にのみ、次年度の予算案が編成できる状況になりました。

今回、会費の値上げは見送りますが、1年後には会費値上げ問題が再燃する可能性があります。この問題は単年度のこととして処理するのではなく、継続的に審議していく必要性があります。

最後にアンケート回収に際しましては多くの会員の方々のご協力に感謝しております。皆様方からいただいた貴重なご意見を心に留め、今後のクラブ運営に反映させ、楽しいクラブ活動が出来るよう尽力してまいります。

6. 委員会活動報告

(1) 例会委員会

山口委員長

例会の出席状況の報告があった。(既報)

(2) 情報委員会

田中副委員長

プロバス日より269号をお届けします。今回は東山会員が担当されました。原稿の手持ちが少なくないので、寄稿を宜しくお願い致します。

(3) 会員委員会

戸田委員長

現在プロバスクラブの紹介冊子を作成中です。各同好会の活動状況写真の提出をお願い致します。

(4) 研修委員会

竹元委員長

特になし

(5) 地域奉仕委員会

永井委員長

野外サロンの件ですが、集合時間が7時45分になっていますが、7時20分から受け付けていますので、早めにおいでください。

また、荻島会員が不参加になりましたので、当日

の連絡は飯田会員あるいは野口会員にお願いします。本日、さよならパーティの受付を行っていますが、多くの方の出席をお願いします。

(6) 交流担当

浅川担当理事

特になし

(7) 宇宙の学校

下山リーダー

八王子「宇宙の学校」は皆様のご金銭のご援助と人的ご援助が運営の軸になっています。今年度もよろしくご協力ください。本日は平成30年度の日程も決まり、人的なご援助をお願いします。ついては皆様のご協力を頂ける日程のアンケートを、本日または5月例会までにご提出ください。よろしくご協力ください。(寺田サブリーダーからアンケートの説明)

7. 同好会からのお知らせ

ゴルフ同好会よりゴルフ会のお知らせがあった。

8. プロバス賛歌斉唱

9. 閉会

馬場副会長

本日は大変充実した例会でした。先ず卓話では寺田会員から、ユーモアの中にも造詣に富んだお話があり、思わず引き込まれました。

また幹事からは、本年度に浮上した財政上の課題について、再建施策の概要案が提示され、次年度の運営の方向が見えてきました。

会員の皆様には、爛漫の春を満喫して頂き、野外サロン更には5月例会にはお元気にご出席ください。



◆3月中旬に、5日間にわたり八王子有名人としてテレメディアで放映されました。光栄です。これからも役立つ人間として努力します。 塩澤 迪夫

◆エイプリルフールに年を重ねました。元気に迎えられ、仲間感謝します。 塩澤 迪夫

◆クラブ入会時には60歳代でしたが、今や八十路の半ばを超えようとしています。これからは、日々の「キョウヨウ」と「キョウイク」に感謝しつつ、出来ることだけを着実にやり遂げるよう心掛けて参ります。 佐々木 研吾

◆「出演日誌より」4/1 横浜西区合唱祭、4/15 港北区・ウェルケア新吉田、4/17 国際シニア合唱祭「ゴールドエンジェ」 in 横浜、4/26 朝霞・ドローミーときわ台

八木 啓充

◆本日、生涯学習サロンの話し手を務めます。地域奉仕委員会の皆さん、お世話になります。

杉山 友一

◆宇宙の学校・新年度が始まりました。今年も大勢の生徒が参加されることを願っています。

高取 和郎

◆94 才の恩師を囲んで桃の花見の会。

花に観(み)せられ、昼食のフレンチに美味(み)せられ、恩師の講話に魅(み)せられ、心豊かな一日でした。

飯田 富美子

◆俳句同好会から句集「夕やけ第5号」を発行することができました。河合宗匠への感謝と句友の皆さんのご努力を祝して。

田中 信昭

◆3月6日、恒例の<Trio Yamagata 春の音楽会>を致しました。ピアノの長男が出演できなくなり、急遽、畑野かん奈さんにピンチ・ヒッターをお願いしました。畑野さんと、ご来聴の皆さんのご支援で、無事終了できました。Vieren Dank です。

山形 忠顯

◆何事もなく誕生日を迎えることができました。ハッピーです。何歳になったかは申し上げません。

内山 雅之

◆富士森公園の桜、今年も立派に咲いて楽しい花見が出来ました。

山口 三郎

◆創大の広報誌(SUN)を配布させていただきました。

佐々木 秀勝

◆学習サロンも早や3週目。次は野外サロン。本日参加者が確定しますが、ハッピーな結果になることを祈っています。もちろん当日の成功も!!

一瀬 明

寄稿

消えゆく作品「お手前と音楽」 古川 純香

ワン、ワンと元気な犬さん まねしてみましよう
時おりに・・・

11月末、昨年同様一人茶席を開く。同じ町会、会館、丸テーブルを囲み、茶席椅子も5~6席、蔭に水

屋席・・・。ホールは町会在住関係者等の作品(絵画、写真、書、工作、お花等)見事である。私はお手前、主に野行袋、淹茶三客、その場に合わせてトークと共に・・・。野行袋はお道具を紹介、説明、



宝瓶の中の茶碗、皆さん驚く。二日間はすぐ過ぎる。この間、立ってお手前、或いは椅子に座って多少足を動かしたり・・・と、お手前のスタイルを取り入れる。(正座はホールなので出来ず)

茶席の準備、後片付け、運び等々に手助けして下さった皆様有難うございました。終わって作品展示の数々は外され、各々にお持ち帰り、お茶のお手前は作品として形を残さなく消えていくが、お道具さんはしっかりと次の出番を待ってくれます。「楽器と同じですよ!良く練習して下さい」と云っているように・・・。

できあがった原稿をストップし、別な原稿にと変える。つい2日前の出来事にペンが走る。高次の孫の夜の演奏会に行く。これで部活は終わりとのこと。毎回演奏会には出席していた私も文字通りこれが最後かと・・・。感慨無量・・・学生達、各々吹奏楽団の故か、トランペット、クラリネット、オーボエ・・・等々で、彼はコントラバスでした。吹奏楽にふさわしい「コバカバーナ」「輝きの海」など、たくさんありました。高揚感があり、身も軽く帰途につきました。

ふと過去の出来事、お手前と音楽に関連性など思い出しました。過去の茶芸の数々、その演目に伴奏としての音楽、一人で迷いつつ選定した日々、又ある時はお手前に音、つまり音楽の伴奏がないのが日頃の稽古、それがお茶の世界は当然あるが、迷いはあった。過去の作品『茶まんだら』『清泉会だより』にも触れましたが、思案の末、NHKの音楽担当の方とお会いして、音響のすごい部屋で一客一煎のお手前をし、感想を聞きました。あのときのドキドキ感がよみがえってきます。「お道具は楽器ではない、だから味わいがあるのでは?」当然のことを語ってくださいました。アレもコレも懐かしい思い出です。

「音のいろいろ ひとつになって 我が心
やさしく 包まれし」

1: 初めに



私の故郷、愛媛県宇和島市が歴史に登場するのは、
①承平天慶の乱(939～941年)で藤原純友が宇和島市の日振島を根城にしたこと、
②伊達政宗の長庶子・秀宗が家康の天下となった後、秀吉から貰った「秀」のため

に家督を継げず慶長19年(1614年)宇和島藩10万石に封ぜられたこと(大河ドラマ“伊達政宗”にも登場)、③幕末に第8代藩主伊達宗城(むねなり)が四賢侯として活躍したことなどがあります。

2: 参勤交代と江戸藩邸

参勤交代制度は諸藩の重荷とされています。一方、藩の江戸出張所が常時開設され、田舎では得られない知識や文化面での刺激を受け吸収もしました。これは参勤交代制度の大きなプラス面でしょう。10万石の宇和島藩の江戸藩邸(上・中・下屋敷)は合計8万坪もあり、1800年頃には約800名(藩主及び関係者40名、武士150名、下級武士450名、奉公人150名)が居住していたそうです
(rekisinojyubako氏の



「宇和島藩江戸屋敷の人数」。

宇和島藩下屋敷の門

国立新美術館の建 (江戸東京たても園)

設地は宇和島藩上屋敷跡地です。参勤交代経路は海路(大阪まで)、陸路(江戸まで)を含め約千km、30日、約400人、経費は約千両(現価値約1.5億円)の由(ウィキペディア)。

3: 諸大名間の交際

全大名(約270)の半数が同時期に1年間江戸に滞在しており、交流も多かったようです。宇和島藩主の通婚歴では親戚の仙台藩以外に佐賀藩鍋島家(屋敷が隣接)から3代に亘り正室を迎えたことや、萩藩毛利家などがあります。輿入れ先がお国元ではなく江戸藩邸だったことで諸藩の通婚は心理面で比較的容易だったのでしょう。“あんずの里”千曲市の「あんず祭り」は、延宝元年(1673年)に宇和島藩

の豊姫が松代藩主真田幸道に嫁いだ際に、故郷のよすがとして“あんずの樹”を持ち込んだことに端を発するそうです。今では宇和島市と姉妹都市の間柄です。

4: 伊達宗城 その1

宇和島藩第8代藩主・伊達宗城は、1850年代半ばから幕末にかけ松平春嶽、山内容堂、島津斉彬(のち島津久光)らと共に四賢侯と称されました。また安政の大獄に連座し隠居させられましたが、実権は持っていました。



宗城像(伊達博物館)

(ぶらり重兵衛の歴史探訪より)

宗城は3千石の旗本山口家に養子に入った第5代藩主伊達村侯(むらとき)の次男の孫に当たり、第7代藩主伊達宗紀(むねただ)の養嗣子となって宇和島藩伊達家を継ぎました。江戸における交流が偲ばれます。天保15年(1844年)29歳で藩主となり殖産興業に努め、嘉永6年(1853年)の黒船来航は1年前に情報を入手し、在府だった江戸から浦賀に見学に行っています。

1) 蘭学; 宗城は江戸で旧知の蘭学者高野長英(蛭社の獄で脱獄中、幕府から追われる身)を嘉永元年(1848年)4月に宇和島に呼んで匿い蘭書の翻訳を行わせ兵備の洋式化に着手しました。しかし翌年1月には幕府に探知され彼は宇和島を去りました。又嘉永6年(1853年)村田蔵六(後の大村益次郎)を招き藩士として雇い蘭学の教授や翻訳、兵制、蒸気船の研究などに従事させ、彼は安政3年(1856年)まで滞在しました。司馬遼太郎「酔って候」の“伊達の黒船”は1858年に完成した蒸気船です。

2) 幕末の有名人の来訪;

①イギリス公使パークスが長崎から鹿児島を経て慶応2年(1866年)6月27日宇和島に来航し、宗城とともに相互の兵を閲兵後会し7月2日まで滞在しました。この時の通訳は有名なシーボルトの子息だったそうです。

②イギリス外交官アーネスト・サトーが慶応2年(1866年)12月に来航し、藩主(宗徳)や隠居(宗城)に面会し、当時の情勢について会談しました。

(サトーの著書「一外交官の見た明治維新」より)

③西郷隆盛が慶應3年(1867年)2月24日に高知から船で宇和島に入って宗城と面会し四候会議(5月に実現)を働きかけました。これらは何れも当時の宗城の立場を示しています。

本項①②及び蒸気船は「幕末“素直のすすめ”～宇和島藩主・伊達宗城」として2017年10月に



NHK・Eテレ・知恵泉で紹介されました。

切手に描かれた
宇和島城

5: 伊達宗城 その2

宗城関連の話を二つ紹介します。

1) 千葉佐那 (歴史読本2010年4月号「目撃された千葉佐那」; 宮川禎一); 千葉佐那は北辰一刀流桶町千葉道場主・千葉貞吉(周作の弟)の二女で、北辰一刀流免許皆伝・長刀師範、又坂本龍馬の許嫁だったとされる女性です。宗城の日記には“安政3年(1856年)19歳の千葉佐那が宇和島藩江戸藩邸に通い二人の姫に剣術指導を行った”ことが記されています。後の9代藩主・宗徳(むねえ)とも手合せをして長刀で破ったそうです。宗城は“佐那が美人で武術にも強いので驚いた”と記しており、この逸話は宮川氏が幾つかの資料と共に考証して発表し、現在広く知られています。

2) 遠足(とおあし; 2017年11月14日日本経済新聞文化欄「マラソン侍でござる」より)

安政元年(1854年)2月、在国の宗城は馬に乗り御徒3名と足軽17人が追う形で47kmの「健歩」を催しました。それは宝暦9年(1759年)の遠足を嚆矢とするものでした。宗城は江戸城で吹聴したらしく翌年には上州安中藩が「遠足」を催したそうです。同記事によれば安中市では“安政遠足侍マラソン大会”を1975年頃から実施しているそうです。

6: 終わりに

幕末に一瞬輝いた田舎の小藩と江戸文化の影響について記しました。宗城は維新後に“閑僚”となりましたが、元来の親徳川家の立場から早々に引退しました。

俳句同好会便り

私の一句～四月の句会から

河合 和郎

俳句同好会は発足して早や七年目に入った。この四月には自選句集「夕やけ」の第五号を発刊。悩みつつ、切磋琢磨、俳句づくりを楽しんでいる。

からくりの小僧がくるり高山祭 田中 信昭

昨年、吟行で訪れた高山での作。からくり人形の所作を詠んで「小僧がくるり」の措辞がいい。

花冷や熱き茶漬に鮭をのせ 飯田富美子

「花冷」の季語と温かい茶漬けの取り合わせがうまい。作者の作品は新境地を開拓しつつある。

窓掃除隅にひとひら春残る 立川富美代

日常の一コマを一句に仕立てるのが作者の得意技。窓に残った桜の花びらに春の名残りを見た。

降り敷ける花びら越しの帕特かな 馬場 征彦

桜吹雪の下での何とも贅沢なゴルフ。入ってよし、入らなくとも、景色に免じてOKとしておこう。

春の宵値千金酒を汲む 渋谷 文雄

「春宵一刻値千金」に酒が加われば「値は万金」間違いなし。大胆な言葉遊びの一句で大成功。

プラカード兜太は死して名を留む 山形 忠顯

兜太が書いたプラカードが、街頭運動の先頭に立っている。反骨反戦の信念は引き継がれて行く。

一天に月と日ありて山笑ふ 東山 榮

天空に浮かぶ日と月と、そして優しいたたずまいの春の山。大きな景を詠んで「山笑ふ」が効果的。

並び立つ地蔵もかすむ花吹雪 矢島 一雄

今年の桜はあっという間に散ってしまった。お地藏さんの姿が霞むほどの花吹雪も、盛りは短い。

春雷や一すじの金放ちたる 池田ときえ

今月は金が兼題。雷の稲妻を「一すじの金」とは独創的でうまい表現。一事一唱で力強い一句。

春の海金波銀波の浜に散る 河合 和郎

春の海は細波がキラキラと光り、金の波、銀の波が寄せて来る。そして砂浜には光りの粒が砕け散る。

編集後記：三月四月は野草づくり。秩父両神日本一のセツブンソウ群生地。高尾にヒメネコノメソウ、アズマイチゲなどなど。合間に「便り」の編集。忙中更に忙あり。 八木